

府民の森パークレンジャーを募集しています!

府民の森パークレンジャーは、府民の森の豊かな自然の魅力と訪れる人々をつなぐ架け橋として、自然や環境に関わる様々な活動を通じて自然の大切さを伝えるボランティア。18歳以上の方ならどなたでも参加可能です。

【活動内容】 自然体験活動の企画運営、森林保全活動、自然体験リーダーの育成、様々な団体への環境教育等の活動支援、環境調査など

【応募資格】 満18歳以上で自然や環境に興味のある方で養成研修を原則すべて受講できる方 など

【募集人員】 30名程度

【費用】 養成研修受講料 10,000円 (4月～11月 14回)

【申込み】 下記ホームページからお申込みください。
<https://www.japan-parkranger.com/home/2019-parkranger/>



詳しくはホームページで

府民の森パークレンジャー 検索

左記QRコードからも応募できます!

永和信用金庫様から寄附金をいただきました。

永和信用金庫様では、お客様に地球環境問題を訴え、一人でも多くの方に関心を持ってもらう事を目的に、今年で12年目となる個人向け定期積金「えいわエコ定期積金」を8月から9月の2か月間募集されました。

この間の契約高の中から676,000円を、地球温暖化防止活動に役立てるため、去る11月5日大阪府地球温暖化防止活動推進センターに寄附していただきました。

寄附金は、えこっとOSAKAの発行費用やセンターの活動費用の一部に充当します。



2019年1月3日 大阪府民の森 イベント情報

熱の実験とオリジナルカイロ作り

【期間】 1月13日(日)
【時間】 13:00～14:30
【定員】 20名
【場所】 府民の森ちはや園地 **【料金】** 500円
【集合】 ちはや星と自然のミュージアム
【申込】 1か月前から大阪府民の森HPより申し込み。
 あったかカイロを作ったり、実験で自然の不思議を体験します。

雪中のアニマルトラッキング

【期間】 1月20日(日)
【時間】 11:00～15:00
【定員】 20名
【場所】 府民の森ちはや園地 **【料金】** 500円
【集合】 ちはや星と自然のミュージアム
【申込】 1か月前から大阪府民の森HPより申し込み。
 雪の上に残された動物の足跡を観察します。どんな足跡が見られるでしょう。

実験・雪の結晶づくり

【期間】 1月27日(日)
【時間】 10:00～14:30
【定員】 30名
【場所】 府民の森ちはや園地 **【料金】** 500円
【集合】 ちはや星と自然のミュージアム
【申込】 1か月前から大阪府民の森HPより申し込み。
 ペットボトルを使って、雪の結晶づくり体験します。

溜氷まつりクラフト

【期間】 2月3日(日)
【時間】 10:00～15:00
【定員】 30名
【場所】 府民の森ちはや園地 **【料金】** 500円
【集合】 ちはや星と自然のミュージアム
【申込】 当日現地で受付
 動物の足跡をモチーフにしたクラフトを作ります。その後動物の足跡探しに出かけます。

ちはや園地ガイドウォーク

【期間】 1月～3月の第1・第3日曜日
【時間】 11:00～13:00～の2回
【場所】 府民の森ちはや園地 **【料金】** 100円
【集合】 ちはや星と自然のミュージアム
【申込】 当日現地で受付
 季節によりガラリと変わる自然の姿を観察するガイドツアー。専門の自然解説員がガイドします。

冒険登山

【期間】 3月3日(日) **【時間】** 9:30～15:30
【定員】 30名
【コース】 近鉄石切駅～さか園地～近鉄石切駅
【料金】 500円
【集合】 近鉄石切駅 9:20
【申込】 1か月前から大阪府民の森HPより申し込み。
 生駒の古道、生駒直越えをたどる。生駒山の隠れた名所を訪ねます。

クライミング体験講習会

【期間】 3月10日(日)
【時間】 13:00～15:30
【定員】 40名(小学4年生以上)
【場所】 府民の森ほしだ園地 **【料金】** 2,500円
【集合】 ほしだ園地ビトンの小屋
【申込】 当日現地で受付
 高さ16.5mの本格的なクライミングウォールに挑戦(初心者歓迎)どなたでも気軽に楽しめます。

おもしろウォーク

【期間】 3月24日(日)
【時間】 10:00～15:00～ **【定員】** 50名
【場所】 府民の森むろいけ園地 **【料金】** 500円
【集合】 府民の森むろいけ園地 森の宝島
【申込】 当日現地で受付
 五感で自然を体感。パークレンジャーとむろいけ園地の自然を楽しむガイドツアー。

えこっとOSAKAにご意見をお寄せください。.....
 ご家庭や会社で取組んでいるエコ活動や、身近で地球温暖化防止に役立っている商品、設備、施設等ありましたら教えてください。その他、本紙の感想や取り上げてほしい特集なども、どしどしお寄せください。
 ご意見はこちらから <https://goo.gl/aZVbQn>

「えこっとOSAKA」を購読しませんか? 継続して購読されたい方は、1期(年3回発行)送付分の切手、82円3枚を添えて、郵便番号、住所、氏名、電話番号、何号分から送付をご希望かを記入のうえ、大阪府地球温暖化防止活動推進センターまで郵送にてお送りください。
 ●あて先 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 大阪府地球温暖化防止活動推進センター
 お近くの市町村(環境担当部署)、消費生活センター、図書館、府民情報プラザなどでも配布しております。

えこっとOSAKAは、カーボンオフセット付の環境にやさしい情報紙です。

本紙は1部あたり10.2gのCO₂(ライフサイクル)を排出しますが、これを大阪府域において実施の省エネプロジェクトで創出されたクレジットでオフセットしています。



えこっとOSAKA

「えこっと」は地球環境を守るために、私たちの暮らしをちょこっと(少し)だけ、えーこと(良いこと:やさしい)、エコロジカルにしよう、大阪言葉を交えた意味を含んでいます。

編集・発行/大阪府地球温暖化防止活動推進センター 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 一般財団法人大阪府みどり公社 TEL.06-6266-1271 FAX.06-6266-8665 <http://osaka-midori.jp/>
 編集協力・印刷/株式会社ウイルハーツ 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町17-1 コンパノビル 2F TEL.06-6378-9500 FAX.06-6378-9550 <http://www.w-hearts.jp/>

マスコットキャラクター「えこたま」
 毎月16日は「ストップ地球温暖化デー」



プラスチックごみから海を守ろう!

「マイクロプラスチック」ってご存知ですか?

プラスチックは、安価で使いやすいことから、20世紀半ば以降、急激にその生産量が増大し、現在では私たちの生活に欠かすことのできない素材となっています。

その一方、使用の過程で環境中に流出するプラスチックや、街で不用意に捨てられるプラスチックなどが、川から海に流され、海洋環境や生物に深刻なダメージを与えていることが、近年、地球規模での問題となっています。

また、細分化されたマイクロプラスチックによる生態系への影響も懸念されています。



国内外の動き

テグスが絡まったオットセイ (提供:海上保安庁)

地球規模での海洋プラスチック問題に対応するために、2018年6月に開催されたG7シャルルボワ・サミットでは、カナダや欧州各国が、達成期限付きの数値目標等を含む「海洋プラスチック憲章」を承認しましたが、日本と米国はこれに署名しませんでした。日本政府は拒否の理由を「国内法が整備されておらず、社会にどの程度影響を与えるか現段階でわからない」としていましたが、その後、海岸漂着物処理推進法を改正し、事業者に対してマイクロプラスチックの使用抑制や廃プラスチック類の排出抑制の努力義務を規定するなど、対策を強化しました。また、2019年6月に大阪で開催されるG20サミットに向けて、世界のプラスチック対策をリードしていくことが重要とし、現在、プラスチックの資源循環を総合的に推進するため、「プラスチック資源循環戦略」の策定に向けた検討を進めているところです。

企業においても、飲食チェーン店がプラスチック製の使い捨てストローの使用禁止を発表するなど、グローバル企業を中心に積極的に取組みが進められています。このように、国内外で、海洋プラスチック問題に対応する動きが加速化しています。



大阪湾の海岸に漂着した海ごみ (提供:大阪府)



マイクロプラスチック (提供:海上保安庁)

マイクロプラスチックとは

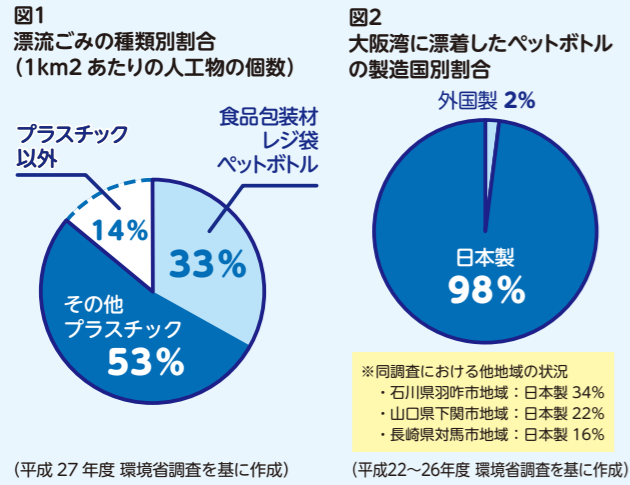
5mm以下の微細なプラスチックごみのこと。
 洗顔料、歯磨き粉等のスクラブ材等に利用されているマイクロビーズ等と、大きなサイズのプラスチックごみが自然環境中で細かく砕かれたものがあります。
 海の生物がマイクロプラスチックを餌と間違えて摂取することで、吸着したPCB等の化学物質が体内に取り込まれ、食物連鎖を経て、生態系に影響を与えることが懸念されています。

プラスチックごみから海を守る！ 「マイクロプラスチック」ってご存知ですか？

大阪湾の状況

環境省の調査によると、大阪湾では、プラスチックごみが漂流ごみ全体の約8割を占めています（流木等を除いた人工物の個数濃度）(図1)。

また、大阪湾に漂着したペットボトルは、ほとんどが国内製ということがわかりました(図2)。



このことから、大阪湾では、海ごみの多くが陸域で発生したプラスチックごみで、風や雨によって川から海へと流れ出したものであるものと考えられます。

日本周辺海域では、北太平洋の16倍、世界の海の27倍ものマイクロプラスチック(個数)が存在するとの研究報告があり(九州大学等による共同研究)、日本周辺海域(東アジア)は、マイクロプラスチックのホットスポットともいわれています。一方、大阪湾におけるマイクロプラスチックの密度は、今のところ、瀬戸内海などの海域と比較すると高いものの、日本周辺の沖合と比較して高いものではないという結果が出ています(表1)。

表1 マイクロプラスチックの密度(個/m³)

	大阪湾	瀬戸内海(平均)	日本沖合海域
密度	0.034 ~ 0.75	0.35	0.00 ~ 15.75

(平成26~27年度 環境省調査を基に作成)

表2 主にプラスチック廃棄物の焼却等によるCO₂排出量(百万トン-CO₂)

年度	1990年度	2005年度	2013年度	2016年度
排出量(シェア*)	24.0 (2.1%)	31.7 (2.5%)	29.4 (2.2%)	29.7 (2.5%)
2017年度				
排出量(シェア*)		29.8 (2.5%)	29.9 (2.5%)	29.9 (2.5%)
変化率				
	2005年度比	2013年度比	2016年度比	
変化率	-5.7%	+1.6%	+0.5%	

※全二酸化炭素排出量に占める割合 出典：環境省

不用意に捨てられたごみがまちから海へ…



陸域で発生したプラスチックごみが海に流出し、海ごみやマイクロプラスチックとなるのを防ぐためには、街中やレジャーなどで不用意に捨てられるプラスチックをなくすことが、最も重要です。

さらに、プラスチック製品は、ごみとして焼却する際に多くのCO₂を排出するとともに、製造時にもCO₂を排出をするため、使い捨てプラスチックの使用削減は温暖化対策としても重要です(表2)。

海ごみをなくすために、私たちができること

使い捨てプラスチック製品を使わないようにしましょう

プラスチックごみから海を守るために、使い捨てプラスチックの使用削減(リデュース)やリユース、リサイクル、さらにリフューズ(必要のないものを断る)など、日々の生活で、私たち一人一人ができることに積極的に取り組んでいきましょう。

マイバッグやマイボトルなど、繰り返し使用できるものを選びましょう。また、レジ袋やストロー等、必要でないものは断りましょう。

プラスチックのポイ捨ては絶対にやめましょう

屋外で出たごみは必ず持ち帰り、お住まいの市町村の分別ルールに従って適切にごみ出しをしましょう。

地域の清掃活動に参加してみましょう



河川清掃活動の様子(提供：大阪府)

大阪府内では、河川や海岸等でさまざまな清掃活動が実施されています。積極的に参加してみましょう。

「すべては、ごみゼロのために」



▲大阪市立環境科学センター 中尾賢志氏

大阪府地球温暖化防止活動推進センターでは、大阪府地球温暖化防止活動推進員で構成する「3R推進チーム」と共同で、『マイクロプラスチック問題』をテーマとするセミナーを平成30年12月1日(土)に大阪富国生命ビルで開催しました。

海洋マイクロプラスチックは、魚介類に取り込まれ、それを食べることで人体への健康被害が懸念されています。

今回のセミナーでは、『マイクロプラスチック研究の最前線』として、その現状や問題点などを大阪市立環境科学センター

研究者の中尾賢志氏にご講演いただきました。

マイクロプラスチックの元となるプラスチックは、製造時・焼却時もCO₂を発生します。プラスチックそのものを今後どうするかということも含め、参加者全員で課題を共有できた意義あるセミナーでした。

同時に、「レジ袋の削減」「布のリユース」「天神祭ごみゼロ大作戦」の活動報告を聞き、今後の温暖化対策の広がりを感じることが出来たセミナーでした。

▲3R推進チーム代表 西村優子氏



▲3R推進チーム代表 西村優子氏

これがシロクマの温暖化をまきまく4つの「適応術」でい!

- 1. 今まで食べなかったものを食べる**
寒い冬で来たイルカや渡り鳥の卵を食べるようになった。
シロクマがイルカを食べる姿が確認されたことはかつてなかった。
- 2. 食べ残しを冷蔵する**
食べ残したシロクマがイルカの食べ残しを雪に埋めているのが目撃されている。
食べ残しを「冷蔵」することはこれまで見られなかった行動である。
- 3. 海岸でのんびり**
海水が少ない夏に、海岸で過ごすシロクマの割合が増えている。
短い夏の間、陸の上で休眠に近い状態でエネルギーを温存しているのではないかと考えられている。
- 4. 人の食べ物に興味**
お腹を空かせてシロクマがエサを求めて人里に近づきトラブルに巻き込まれる事態が起きている。
シロクマにとっても、人間にとっても危険な状況に。

北極域の海水面積の推移

年	1990	2016
減少率		3.5 ~ 4.1%

出典：IPCC 第5次評価報告書

シロクマも環境変化に立ち向かうべき時が来たよ!

しかし! シロクマも環境変化に立ち向かうべき時が来たよ!

シロクマさん、ぼくたちもがんばるよー!

シロクマさん 大変だあー!

エゴには少し無頓着な無田杉家の人々。そんな家族に地球温暖化の現状や対策について、えこと町奉行が鋭く解説します。

えこと町奉行「動物もつらいよ! シロクマの適応術」の巻

えこと町奉行所
えこと町奉行
お父さん
お母さん
マナブくん(4)
サクラちゃん(1)

出典：ナショナルジオグラフィック日本版ウェブサイト <https://natgeo.nikkeibp.co.jp/atcl/news/15/a/090800033/>
※イラストはイメージです。